日本医科大武蔵小杉病院移転

新病棟にコロナ病床

川崎市議会論戦から

川崎市議会第3回定例会は13、14の両日、本会議を開き、矢沢孝雄（自民）、堀添健（みらい）、渡辺学（共産）、平山浩二（公明）の4氏が代表質問に立った。8月に移転した日本医科大学武蔵小杉病院の旧病棟を新型コロナウイルス感染症対応に活用する要望が相次いでいたことについて、宮脇護健康福祉局長は「医療従事者を新病棟に集中させるのが効率的」と答弁し、新病棟での受け入れ拡充を明らかにした。

（柏尾　安希子）

神奈川
3.9.21

矢沢　孝雄氏　日本医科大学武蔵小杉病院は先月末で移転したが、新型コロナウイルス感染症対応で旧病院の利活用を求める声が相次いだ。見解は。

宮脇　護健康福祉局長　病院、県、市と協議した結果、旧病棟活用でなく、新病棟で当初予定を大きく上回るコロナ病床を確保し、9月1日から患者を受け入れている。

堀添　健氏　出資法人の川崎アゼリアは、次年度に利益剰余金が枯渇する可能性も十分考えられる。安易な財政出動は困難と考えるが見解と対応は。

玉井　一彦経済労働局長　財政出動は行わないことを基本に経営改善を働きかける。新型コロナの影響で営業損失が拡大し非常に厳しい状況で、早期の収支改善が必要と認識している。

渡辺　学氏　小児医療費助成制度で4年間通院医療費助成の対象年齢が拡大されず、所得制限、一部負担金の3点で比べると県内最下位だ。中学3年まで医療費無料化を実施すべきだ。

福田　紀彦市長　通院医療費助成の対象年齢拡大や入院医療費助成の所得制限撤廃を図ってきた。引き続き本制度を含め、総合的に子育て支援施策を進める。

平山　浩二氏　施行される医療的ケア児支援法で、医療的ケア児が家族の付き添いなしで希望する施設に通えるよう支援体制の拡充が必要だ。

宮脇健康福祉局長　医療的ケア児・者等支援拠点を2カ所新設し、重度訪問看護サービス等支援事業も拡充。24時間人工呼吸器利用者を対象に非常用電源給付事業も今月から開始した。